

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、同和問題をはじめとする人権問題に関する伊万里市民の意識を把握したうえで、これまでの教育・啓発の成果や問題点を明らかにし、今後の取り組みの指針となる基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査項目

- はじめに
- 日常生活での風習について
- 人権問題について
- 同和問題について
- 啓発活動について
- 回答者の年齢

3. 調査の方法

- 調査対象：18歳以上の市民2,000人を住民基本台帳から無作為抽出
- 対象者数：1,987人（宛先不明13人を除く）
- 回収数：1,064人（回収率53.5%）
- 調査方法：郵送による送付、回収及びオンライン回答受付
- 調査時期：令和7年12月

4. コンセプト

- ・調査票を読むことが啓発につながるよう工夫しました。
- ・回収率の向上へ向けて工夫しました。
 - 「設問は少なく」「分かりやすい言葉で」「個人情報の収集は最低限に」
 - 「インターネットを利用したアンケートの回答」

5. 報告書の見方

- ・各設問の回答者数は1,064人です。
ただし、問12から問18までの回答者数は928人です。

これは、問11の同和問題の認知状況で「よく知っている」「少し知っている」と回答した882人と、「知らない」「無回答」と意思表示した人のうち46人を合わせた人数です。

- ・回答比率(%)は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、表示された回答比率の合計が100%ちょうどにならない場合があります。
- ・複数を選択する方法の設問は、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・今回新設した設問、内容を変更した設問など、前回(令和2年度)の調査結果との比較をしていないものがあります。

6. 回答者の構成

(回答者数：1,064人)

